

## 進路指導室から 第358号

### はじめに

国公立大学の出願が始まりました。今や「ネット出願」が一般的になりつつありますが、くれぐれも募集要項の内容を丁寧に確認しながら、出願手続きを進めるようにしてください。

さて、1月28日（金）に全国国立大学協会は、2024年度に実施する大学入学共通テストにおいて、以下のように、「情報」を新たに入試科目として追加することを発表しました。

国立大学においても、これからの社会に向けた人材育成の中で、文理を問わず全ての学生が身に付けるべき教養として「数理・データサイエンス・AI教育」が普及しつつある。そのような状況の中で、高大接続の観点からも、「情報」に関する知識については、大学教育を受ける上での必要な基礎的な能力の一つとして位置付けられていくことになる。

よって、2024年度に実施する入学者選抜から、全ての国立大学は、「一般選抜」においては第一次試験として、高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測るため、原則としてこれまでの「5教科7科目」に「情報」を加えた6教科8科目を課す。

なお、2024年度に実施する入学者選抜での経過措置問題を含む「情報Ⅰ」の活用の方法等について、各大学は、速やかにホームページを活用して公表するなど、受験生に対して十分な説明を行う。

「情報」はこれからの社会を生きていく上で不可欠な科目であることは認識していますが、受験生にとっては負担増につながりかねません。受験生の国公立離れが進んでいく可能性があると思っています。

### 「大学入学共通テスト対策」について

ベネッセコーポレーションは、1月15日（土）・16日（日）に行われた令和4年度大学入学共通テストに関し、科目別分析を行うとともに、以下のようにこれからの学習のポイントをまとめています。

#### 〔これからの学習ポイント〕

教科・科目	これからの学習ポイント
英語リーディング	■ 内容や場面が工夫された素材が出題され、多面的なリーディング能力が問われている。「複数の情報を処理する力」や「文章の論理展開を把握する力」などを意識して伸ばしていこう。
英語リスニング	■ 音声情報の表面的な理解にとどまらず、具体的な体的な状況やイメージを頭の中で思い浮かべられるかどうかのポイントであった。話し手の意図や場面を意識しながら、音声を聞く練習を積もう。今後も、音声情報と図表などの視覚情報をもとに解答したり、複数の情報を整理・判断したりするなど、多面的に情報を処理することが求められると予想される。重要な情報を逃さずに聞き取ることができるよう、メモを活用して短時間で情報を整理する練習を積むとよいだろう。
数学ⅠA	■ 現実事象の問題や、対話形式の問題は、従来のセンター試験に比べると1題あたりの問題文が長い傾向がある。問題文をじっくり読んでいると時間切れになってしまう可能性があるため、必要な情報を素早く取捨選択することなどを意識した演習を積んでおこう。 ■ 問題の分量が多いため、まず最初は70分以上かかってもよいので、自力で解ききれるように過去の共通テストの解き直しを行おう。その後、少しずつ時間内に終わられるよう、時間配分や効率的な計算を意識した演習を積もう。
数学ⅡB	■ 現実事象を題材とした第4問のように、今後も文章量が多い問題が出題される可能性がある。対話文をヒントにするのはもちろん、「～より」「～に注意する」などの語句にも着目し、誘導に従いながら解き進めるようにしよう。 ■ 見慣れない問題を解く際は、値を代入した結果の推測や、条件の読み替えなど、自分の知っている知識との結びつけが重要になる。焦らずに、どの知識を用いればよいか、どこに着目すれば選択肢を消去できるかなどを考え、見通しを立てて解き進めるようにしよう。
国語	■ 生徒の学習過程を想定した設問や、複数テキストを比較・統合しながら応用的思考力を問う設問が出題される。本文の構成や展開を的確にとらえ、論旨や内容を正確に読み取る力に加えて、複数の文章や資料の共通点や相違点をとらえたり、抽象化してまとめたりする力が求められる。文章の表面的な読解にとどまらず、その根底にあるテーマや、書かれた背景にまで着目して、深く考える力を身につけよう。
世界史B	■ 多様な資料を読み取る練習に加え、読み取った情報を吟味・分析する力を養おう。 ■ 資料と知識を組み合わせる問題が出題されるので、基本的な知識の習得にも力を入れて学習しよう。

日本史B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様な多くの史資料を読解する力が求められる。教科書や資料集などを活用して、さまざまな史資料に慣れておきたい。史資料から読み取れることを自分でまとめ、教科書本文の内容との関連を確認しよう。</li> <li>■ 歴史を考察する多面的・多角的な視点が求められる。同じ出来事でも、立場や視点を変えるとどのような評価ができるのか、学習内容と関連づけて考えよう。</li> </ul>
地理B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 複数の資料を組み合わせる深い思考力を問う問題が出題される。複数の資料から情報を読み取ってそれぞれを関連付けたり、資料の数値の変化や差異がみられる点に着目して原理原則や既習の知識をもとに背景を考察したりする演習を重ねよう。</li> <li>■ 地域のさまざまな事象を他の事象と結びつけたり、異なる地域の対照的または類似的な特色を比較しながら、自然的・社会的条件を踏まえて、その地域がどのような地域であるか考察したりしよう。さまざまな地域について「どのような地域なのか、なぜそうなるのか」を意識して理解を深めよう。</li> </ul>
倫理、政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「倫理」では、現代社会の課題に対して、何が問題で、どのように解決していくことができるのかについて問題意識を持ち、先哲の思想を想起しながら考えてみよう。</li> <li>■ 「政治・経済」では、新聞やニュース、資料集などを活用し、日ごろから文章や統計資料に慣れ親しみ、問われている内容を正確に理解する力や、複数の資料から必要な情報を抽出する力、抽出した情報を関連付けて考察する力を身につけよう。</li> </ul>
化学基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教科書で扱われている知識事項を細部までしっかりと身につけることが有効である。教科書の本文中にある用語だけではなく、図・グラフまで丁寧に理解しておこう。</li> <li>■ 実験の操作や、結果からの考察などについて問われることが今後も予想される。まずは教科書で扱われている実験について、原理や操作の意味、結果から導かれる事柄などを、確実におさえよう。</li> </ul>
生物基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教科書に掲載されている重要用語は、単に覚えるだけでなく、意味を理解して、さまざまな場面で活用できるようにしておこう。</li> <li>■ 日ごろから生物に関連した資料や文献などを読み、教科書で学んだこととの関連を考える習慣をつけよう。</li> </ul>
地学基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教科書に掲載されている基本的な内容をまんべんなく身につけておこう。実験や観察についても、その意図や方法をしっかりと理解しておきたい。</li> <li>■ 図やグラフから必要な情報を抽出する力をつけるために、まずはいろいろな図に触れることを心がけよう。また、文章で説明された情報をもとに作図する力も身につけておこう。</li> </ul>
物理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図やグラフから必要な情報を読み取って現象を考察する問題は、今後も出題が予想される。日ごろから、図やグラフから読み取れる情報をもとに、比較・推測・判断する経験を積んでおこう。</li> <li>■ 目新しい題材や目新しい設定の問題にも対応できるように、日常の場面でみられる現象と物理法則がどのように関連しているのか考えることを、普段から意識しよう。</li> </ul>
化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教科書を中心に基本的な内容をまんべんなく理解しておくことが大切である。学習した内容は、確実に定着させておこう。</li> <li>■ 教科書に掲載されている実験や探究活動について、その意図や手法をしっかりと理解しておきたい。さらに、得られたデータから、作図や計算をする演習も積んでおこう。</li> </ul>
生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教科書に記載されている知識を覚えるだけでなく、分野どうしのつながりや、身の回りの現象との関連を考える習慣を身につけよう。</li> <li>■ 問題文、設問文、複数の図表・グラフなど、多くの情報から必要な情報を読み取る練習をしておこう。</li> </ul>

## 「第6回保護者対象進路指導研修会」について（再掲）

以下にて、「第6回保護者対象進路指導研修会」を行います。坂口先生のご講演は今回が4年連続になります。先日、坂口先生と打ち合わせをする機会がありました。坂口先生は、「受験で大切なことは、自分なりに精一杯やりきる」と話されました。坂口先生のご講演は毎年盛況のうちに行われています。

日 時	： 令和4年2月19日（土） 14：00～15：30
場 所	： 本校視聴覚教室（予定）
内 容	： 「受験生を伸ばす親 つぶす親」
講 師	： 河合塾広島校 英語講師 坂口 雅彦 様

2月9日（水）から進路指導室前に申込用紙を用意しておきますので、必要事項をご記入の上、お子様を通じて進路指導室部にご提出してください。（申込手続きなしのご参加はご遠慮ください）

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止にさせていただきます。ご了承ください。

## 終わりに

新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。大学受験への影響については注意したいと思っています。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）